

平成28年度 教育論文

< 研究主題 >

英語に慣れ親しみ  
積極的にコミュニケーションを図ろうとする  
児童の育成

英語活動



嘉島町立嘉島西小学校

## < 目 次 >

はじめに

|     |                                                  |   |
|-----|--------------------------------------------------|---|
| I   | 研究主題                                             | 1 |
| II  | 主題設定の理由                                          | 1 |
| 1   | 今日的課題から                                          | 1 |
| 2   | 本校の実態から                                          | 1 |
| III | 研究主題のとらえ方                                        | 2 |
| IV  | 研究の仮説                                            | 2 |
| V   | 研究の視点及び研究内容                                      | 3 |
| VI  | 研究の実際                                            | 3 |
| 1   | 視点1「指導体制の充実」について                                 | 3 |
|     | (1) 付けたい力や態度の明確化                                 |   |
|     | (2) 年間指導計画の作成                                    |   |
|     | (3) 英語コーディネーターとALTを生かした指導体制                      |   |
|     | (4) 英語に関する実技研修の実施                                |   |
| 2   | 視点2「英語に慣れ親しみ、コミュニケーションを図る楽しさや大切さを実感できる授業づくり」について | 7 |
|     | (1) コミュニケーションへの興味・関心を高める指導の工夫                    |   |
|     | ① 単元のゴールとなるコミュニケーション活動の設定                        |   |
|     | ② 「Good Communication」の活用                        |   |
|     | (2) 英語を聞いたり話したりして慣れ親しむ活動の充実                      |   |
|     | ① チャンツの工夫                                        |   |
|     | ② ゲームの工夫                                         |   |
|     | ③ リハーサルタイムの設定                                    |   |
|     | (3) 評価の工夫                                        |   |
|     | ① 積極的な声かけによる評価                                   |   |
|     | ② 振り返りカードによる評価                                   |   |
|     | ③ パフォーマンステストの実施                                  |   |
| 3   | 視点3「英語に慣れ親しめる環境づくり」                              | 9 |
|     | (1) 英語に慣れ親しむ日常活動の実施                              |   |
|     | ① 「朝のミニイングリッシュタイム (MET)」の実施                      |   |
|     | ② 英語の歌の放送                                        |   |
|     | ③ スタンプカードの取組                                     |   |
|     | ④ 「Good Communication」と関連した学習目標の設定               |   |
|     | (2) 英語に関する掲示の充実                                  |   |

|                                                         |    |
|---------------------------------------------------------|----|
| 4 授業実践1                                                 | 10 |
| (1) 単元名 第5学年 Lesson 3 「I like chocolate. ～好きなものを伝え合おう～」 |    |
| (2) 単元の目標                                               |    |
| (3) 単元の指導計画                                             |    |
| (4) 研究の視点                                               |    |
| (5) 本時の学習                                               |    |
| ① 本時の目標                                                 |    |
| ② 本時の展開                                                 |    |
| 5 授業実践2                                                 | 14 |
| (1) 単元名 第4学年 Lesson 4 「動物クイズを楽しもう！」                     |    |
| (2) 単元の目標                                               |    |
| (3) 単元の指導計画                                             |    |
| (4) 研究の視点                                               |    |
| (5) 本時の学習                                               |    |
| ① 本時の目標                                                 |    |
| ② 本時の展開                                                 |    |
| VII 研究の成果と課題                                            | 19 |
| 1 研究の視点について                                             | 19 |
| 2 児童の意識調査の結果について                                        | 20 |

おわりに

## I 研究主題

# 英語に慣れ親しみ 積極的にコミュニケーションを図ろうとする児童の育成

## II 主題設定の理由

### 1 今日の課題から

21世紀は「知識基盤社会」であると同時に、社会や経済のグローバル化が一層進む時代であると言われている。このような知識基盤社会化やグローバル化は、知識や技能だけでなく、それらを生み出す人材をめぐる国際競争を加速させる一方で、異なる文化や文明との共存や国際協力の必要性を増大させている。このような状況から、確かな学力、豊かな心、健やかな体の調和を重視する「生きる力」の育成がますます重要になってきている。

知識基盤社会化やグローバル化が進む時代に対応できる「生きる力」を育成する上では、これまでに経験したことのない様々な問題を解決する力が必要であり、学校教育における重要な取組の一つとして外国語教育の充実が挙げられている。

以上のことから、小学校段階で外国語に触れたり、体験したりする機会を提供することにより、中・高等学校において必要なコミュニケーション能力を育成するための素地を、中学校における外国語教育との円滑な接続を図ること等を目的として、小学校に外国語活動が平成23年度から新設され、各学校においてコミュニケーション能力の素地を育成する取組が行われてきた。また、次期学習指導要領の改訂では、小学校第5・6学年から英語が教科として導入され、外国語活動が第3・4学年から実施されることになった。これらの状況をふまえ小学校の段階から、英語に慣れ親しみ、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成することがますます重要になってきている。

### 2 本校の実態から

昨年度、本校は「コミュニケーション能力の素地を身に付けた児童の育成」を研究主題として、5・6年生の外国語活動の授業づくりを中心とした研究を進めてきた。この研究の結果、コミュニケーション能力の育成を意識した授業が展開されるようになり、児童の英語を用いたコミュニケーションへの関心・意欲が高まってきたところである。

昨年度の1学期時点と2学期末時点での意識調査の結果を比較すると、「外国語活動の授業が楽しい。」「英語を話したり聞いたりすることがすきだ。」等の項目において、2学期末の方が「とてもそう思う」「そう思う」と答えた児童が増加した。また、記述欄においても1学期は「授業の中で行うゲームが楽しい。」という理由が多かったが、「もっとたくさん

の人と英語で話してみたい。」「外国の人ともっと話してみたい。」「中学校でもっとたくさん  
の英語を学びたい。」等のコミュニケーション能力の素地の育成につながる意欲面の記述  
が増えてきた。これは、コミュニケーション能力の素地とは何かを明確にし、外国語活動  
の授業づくりや英語に慣れ親しめる環境づくりを行ってきた成果であると考ええる。

しかし、児童のコミュニケーション活動の様子を観察していると、自信をもって会話で  
きななかったり、英語特有の発音やリズムを意識して会話できななかったりする児童も見られ  
た。これは、英語に慣れ親しむ活動の内容や量の工夫がまだまだ不十分であったと推測さ  
れる。また、英語を完璧に話そうとするあまりに英語で話したり聞いたりすることへの苦  
手意識を感じたり、外国の方と話す場面で消極的になったりしている児童も見られた。そ  
の原因として、英語への慣れ親しみが不十分であることだけでなく、児童がコミュニケー  
ションを図ることの楽しさを十分に味わえていなかったことが考えられる。

今年度から3年間の教育課程特例校の指定を受けたことで、全学年において英語を用い  
たコミュニケーション活動「イングリッシュタイム」（以下ET）を実施することになった。  
児童の実態を踏まえ、特例校の指定を生かしながら、今年度の研究主題を「英語に慣れ親  
しみ、積極的にコミュニケーションを図ろうとする児童の育成」と設定し、英語活動の指  
導體制や授業づくりや環境づくりについての研究を積み重ねていくこととした。

### III 研究主題のとらえ方

#### 「英語に慣れ親しむ」とは

英語の音声的特徴を意識して、身近で簡単なことや自分の思い等を英語で聞いたり話した  
りしながら英語の音声や基本的表現にふれること。

#### 「積極的にコミュニケーションを図ろうとする」とは

互いを思いやりながら、相手の思い等を聞いて理解しようとしたり、進んで自分の思い等  
を分かりやすく伝えようとしたりすること。

### IV 研究の仮説

＜仮説＞英語を用いたコミュニケーション活動において、以下の視点について工夫をすれ  
ば、英語に慣れ親しみ、積極的にコミュニケーションを図ろうとする児童が育つであろう。

視点① 指導體制の充実

視点② 英語に慣れ親しみ、コミュニケーションを図る楽しさや大切さを実感できる授業  
づくり

視点③ 英語に慣れ親しめる環境づくり

## V 研究の視点及び研究内容

### ＜視点1＞指導体制の充実

- (1) 付けたい力や態度の明確化
- (2) 年間指導計画の作成
- (3) 英語コーディネーターとALTを生かした指導体制
- (4) 英語に関する実技研修の実施

### ＜視点2＞英語に慣れ親しみ、コミュニケーションを図る楽しさや大切さを実感できる授業づくり

- (1) コミュニケーションへの興味・関心を高める指導の工夫
- (2) 英語を聞いたり話したりして慣れ親しむ活動の充実
- (3) 評価の工夫

### ＜視点3＞英語に慣れ親しめる環境づくり

- (1) 英語に慣れ親しむ日常活動の実施
- (2) 英語に関する掲示の充実

## VI 研究の実際

### 1 視点1「指導体制の充実」について

#### (1) 付けたい力や態度の明確化

研究主題に掲げる児童を育成するために、特に児童に身に付けさせたい力や態度を以下のように整理した。

#### **かかわる態度**

active（自分から進んでかかわろうとする態度）  
friendly（相手意識をもった態度 ※アイコンタクト、スマイル等）  
respect（人や文化等を大切にしようとする態度）  
gesture（身振り手振り等を用いて伝えようとする態度）  
reaction（相手の話に反応して、コミュニケーションを円滑に進めようとする態度）

#### **英語を聞く力**

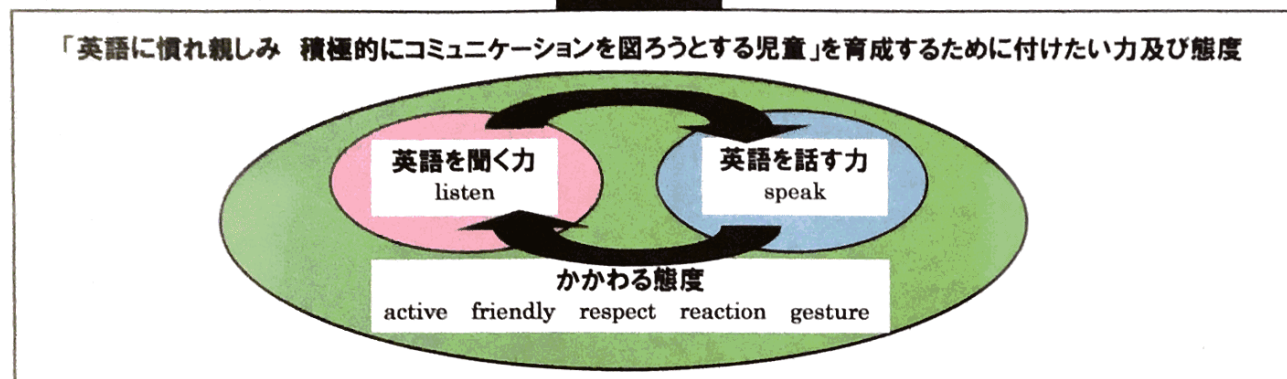
listen（英語の音声的特徴を意識しながら、情報を聞き取る力）

#### **英語を話す力**

speak（英語の音声的特徴を意識しながら、情報を伝える力）

これらの力や態度が児童に身に付いたかを評価する観点として、「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」、「聞くこと・話すこと」、「言語や文化に関する気付き」の3つを設定して指導と評価を行い、実践を重ねた。各学年の目指す児童の姿については次のように整理した。（※資料①参照）

| ＜研究主題＞ 英語に慣れ親しみ 積極的にコミュニケーションを図ろうとする児童の育成                                       |                                                                                          |
|---------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------|
| 「英語に慣れ親しむ」とは<br>英語の音声の特徴を意識して、身近で簡単なことや自分の思い等を英語で聞いたり話したりしながら英語の音声や基本的表現にふれること。 | 「積極的にコミュニケーションを図ろうとする」とは<br>互いを思いやりながら、相手の思い等を聞いて理解しようとしたり、進んで自分の思い等を分かりやすく伝えようとしたりすること。 |



＜ 各学年段階における目指す児童の姿 ＞

|                         | コミュニケーションへの<br>関心・意欲・態度                                                                                       | 聞くこと・話すこと                                                                |                                                         | 言語や文化についての気付き                                                                       |
|-------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------|
|                         | かかわる態度                                                                                                        | 英語を聞く力                                                                   | 英語を話す力                                                  | かかわる態度                                                                              |
|                         | active friendly respect<br>reaction gesture                                                                   | listen                                                                   | speak                                                   | respect                                                                             |
| 1・2年<br>ふれる<br>↓<br>楽しむ | ○英語に関心をもち、コミュニケーションを楽しんでいる。                                                                                   | ○英語のあいさつなど身近で簡単な会話を聞いたり話したりしている。<br>○チャンツ、歌、身体表現等を通して英語の音声や基本的表現を楽しんでいる。 |                                                         | ○外国や日本には多様な言葉、生活、習慣、文化等があることに気付いている。                                                |
| 3・4年<br>楽しむ<br>↓<br>慣れる | ○進んでコミュニケーションを図っている。<br>○相手の話を聞いて、反応している。<br>○身振り手振り等を用いながら伝えようとしている。                                         | ○英語の音声的特徴に注意しながら、相手が伝える内容の大体を聞き取っている。                                    | ○英語の音声的特徴に注意しながら、学習した英語の表現を用いて身近で簡単なこと等について話している。       | ○英語と日本語の音声的特徴の大まかな違いに気付いている。<br>○外国と日本の言葉、生活、習慣、文化等を比較し、その違いに気付いている。                |
| 5・6年<br>慣れる<br>↓<br>親しむ | ○相手のことを思いやりながら、進んでコミュニケーションを図っている。<br>○相手の話の内容に反応して、コミュニケーションを円滑に進めようとしている。<br>○身振り手振り等を用いながら分かりやすく伝えようとしている。 | ○英語の音声的特徴に注意しながら、相手が伝える内容を適切に聞き取っている。                                    | ○英語の音声的特徴に注意しながら、学習した英語の表現を用いて身近なことや自分の思い等を分かりやすく話している。 | ○英語と日本語の音声的特徴の違いを理解している。<br>○外国と日本の言葉、生活、習慣、文化等を比較し、それぞれのよさ、多様なものの見方や考え方に気付いたりしている。 |

【資料①】 児童に身に付けさせたい力及び態度と各学年段階における目指す児童像

## (2) 年間指導計画の作成

今年度から全学年でETを実施するにあたり、年間指導計画を作成した。（※資料②参照）  
今年度はETの時数を1・2年が11時間、3・4年が22時間、5・6年が55時間で計画を作成した。

1・2年は、あいさつ、児童にとって身近な単語、簡単な会話等を中心に単元を構成した。指導の際は歌、チャンツ、ゲームを中心に行い、英語を使うことの楽しさを実感できるような活動を設定した。

3・4年は、5・6年が使用する教材「Hi, friends !」や「I CAN DO IT !Junior」から3・4年の段階でも指導できる表現を選んで、単元を構成した。また、1・2年で学習する表現がスパイラルで指導できる計画を作成した。

5・6年は、増加した時数を生かして、1単元の指導時数を増やし、英語に慣れ親しむ時間を十分に確保した。また、「I CAN DO IT !Junior」を活用しながら児童の興味・関心に応じた特設単元も設定した。

|      | 1年（11時間）                                                                                                                                              | 2年（11時間）                                                                                                     | 3年（22時間）                                                                                                                                              | 4年（22時間）                                                                                                                                             | 5年（55時間）                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   | 6年（55時間）                                                                                                                                                                                                                                                     |
|------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 4月   | オリエンテーション(2)<br>Hello, how are you?<br>I'm hungry/ happy/ sleepy/ fine/ tired/ sad.                                                                   | オリエンテーション(2)<br>Hello, how are you?<br>I'm hungry/ happy/ sleepy/ fine/ tired/ sad.                          | オリエンテーション(2)<br>Hello, how are you?<br>I'm hungry/ happy/ sleepy/ fine/ tired/ sad.                                                                   | オリエンテーション(2)<br>Hello, how are you?<br>I'm hungry/ happy/ sleepy/ fine/ tired/ sad.                                                                  | オリエンテーション(1)<br>あいさつと自己紹介をしよう(5)<br>Hello, my name is ~<br>What's your name?<br>ジェスチャーで伝えよう(2)<br>I'm happy. I'm fine. How are you?<br>いろいろなものを数えよう(4)<br>How many pencils?<br>one, two, three, four... twenty.<br>好きなものを伝えよう(6)<br>I like apples. I don't like bananas.<br>Do you like baseball?<br>Yes I do./No I don't. | オリエンテーション(1)<br>筆箱の中身をたずねよう(5)<br>How many pencils do you have?<br>I have three pencils.<br>友達の誕生日を調べよう(5)<br>When is your birthday?<br>My birthday is March eighteenth<br>できることを紹介しよう(5)<br>I can /can't swim.<br>Can you cook?<br>Yes, I can./No, I can't. |
| 5月   |                                                                                                                                                       |                                                                                                              | 数を数えよう(2)<br>one, two, three, four, ... one hundred                                                                                                   | いくつあるかな?(2)<br>How many?<br>one, two, three, four, ... one hundred                                                                                   |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |                                                                                                                                                                                                                                                              |
| 6月   | 体の名前を知らう(1)<br>head/ shoulders/ knees/ toes/ arms/ neck/...                                                                                           | 数を数えよう(1)<br>one, two, three, ... nineteen, twelve                                                           | 1週間の給食の献立を考えよう(4)<br>Sunday/Monday/Tuesday/Wednesday/Thursday/ Friday/ Saturday<br>[foods]<br>spaghetti/ hamburger/ steak/ curry/ rice/ miso soup/... | 友だちに自分の誕生日を伝え合おう(3)<br>January/ February/ March/ April/ May/June/July/August/September/October/ November/ December<br>1st~31th<br>My birth day is ~. |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |                                                                                                                                                                                                                                                              |
| 7月   | 動物や色を覚えよう(2)<br>[animals]<br>dog/ cat/ lion/ elephant/ horse/ rabbit...<br>[colors]<br>red/ blue/ green/ yellow/ pink/ purple/ black/ white/ brown... | 体の名前を知らう(2)<br>head/ shoulders/ knees/ toes/ arms/ neck/...<br>mouth/ eyes/ nose/ ears/ chin/...             | I eat ~.                                                                                                                                              | 好きなものを紹介しよう(3)<br>I like ~.<br>animals/ foods/ drinks/ fruits/ vegetables...<br>1週間の予定を考えよう(4)<br>Sunday/Monday/Tuesday/...                          | 友達に好きなものをインタビューしよう(5)<br>What do you like?<br>What animal/color/fruit/sport do you like?<br>I like rabbits/red/bananas/soccer.<br>ほしいものをたずねよう(5)<br>What do you want?<br>drinks/ foods...<br>クイズ大会をしよう(5)<br>What's this? It's a piano.                                                                                    | 道案内をしよう(5)<br>Where is the school?<br>Go straight.<br>Turn right/left.<br>お気に入りの海外ツアーをつくろう(6)<br>I want to go to Italy.<br>Where do you want to go?<br>Let's go to France.<br>1日の生活を紹介しよう(5)<br>What time do you get up?                                     |
| 8・9月 |                                                                                                                                                       | 食べ物の名前を知らう(野菜・果物)<br>(2)<br>[vegetables]<br>carrot/ cucumber / onion/ water melon/ tomato/ potato/ / cabbage | フルーツ/パフェを作ろう(4)<br>(2)<br>I like ~.<br>[fruits]<br>banana/melon/strawberry/pineapple/...                                                              |                                                                                                                                                      |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |                                                                                                                                                                                                                                                              |

【資料②】年間指導計画の一部

### (3) 英語コーディネーターとALTを生かした指導体制

今年度、英語教育を推進するために英語コーディネーター（以下EC）が加配された。ETの指導における担任、EC、ALTの役割分担については次の通りである。

|     | 担任                                                                                  | EC                                  | ALT               |
|-----|-------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------|-------------------|
| 授業前 | ○OETの時間割を確認し、単元の大まかな構想を考える。                                                         | ○各学年のETの時間割を作成する。<br>○ALTの来校日を確認する。 |                   |
|     | ○事前打ち合わせを行い、単元の指導計画や1時間の授業の流れを作成する。                                                 |                                     |                   |
|     |  | ○作成した授業の流れをもとに展開案を作成する。             |                   |
|     |                                                                                     | ○展開案をもとに1時間の授業の打ち合わせをする。            |                   |
|     |                                                                                     | ○授業で使用する教材、チャンツ、ゲームの準備をする。          | ○必要に応じて教材等の準備をする。 |

|             | 担 任                                                                                | E C                                                  | ALT                              |
|-------------|------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------|----------------------------------|
| 授<br>業<br>中 | ○授業の進行をする。                                                                         | ○英語の発音のモデルになる。                                       |                                  |
|             | ○児童と一緒に英語の発音やチャンツ等をして、学び手のモデルとなる。                                                  | ○チャンツ、ゲーム、コミュニケーション活動の進行をする。                         | ○チャンツやゲーム等を通して英語の発音を児童にたくさん聞かせる。 |
|             | ○コミュニケーション活動の会話のモデルになる。                                                            |                                                      |                                  |
|             |  |                                                      |                                  |
|             | ○児童の様子を観察しながら、児童を認めたり褒めたりする声かけを積極的に行う。<br>また、必要に応じて児童への支援を行う。                      |                                                      |                                  |
|             | ○児童の様子を観察しながら、評価をする。                                                               | ○児童と一緒に活動する。                                         |                                  |
| 授<br>業<br>後 | ○ふり返りの活動の際は、児童の記述を確認したり、発言させたりしながら児童のよさやがんばりを認める。                                  | ○ふり返し活動の際は、児童の英語の発音や会話、コミュニケーションの態度についてのよさやがんばりを褒める。 |                                  |
|             | ○評価の結果をもとに、指導の反省を行う。                                                               | ○単元の指導計画や展開案のデータを修正し、蓄積する。<br>○教材の保管をする。             |                                  |

ALT 不在時の指導の際は、EC が上記の ALT の役割を兼務した。また、EC は授業時の指導以外でも、後述する「朝のミニイングリッシュタイム」や英語の校内放送の運営、英語に関する掲示物の作成を推進した。

#### (4) 英語に関する実技研修の実施

教師の指導力向上のため、校内研修の中で教師が英語に慣れ親しむ時間を設定した。授業中に担任があいさつ、褒め言葉、簡単な指示を英語で言えるように「嘉島西小 Classroom English」を作成し配付した。(※資料③参照)そして、その英語の言葉を研修の始めに全員で練習する時間を設定した。

研究授業の事前研究会は、毎回模擬授業形式で行った。模擬授業では、児童が単元で行うチャンツ、ゲーム、コミュニケーション活動を体験する機会を設定した。(※資料④参照)実際に体験することで、教師が英語の表現を学ぶだけでなく、多様な視点から授業改善の

意見が出せるようにした。



【資料③】 嘉島西小 Classroom English の一部



【資料④】 模擬授業形式の事前研究会の様子

## 2 視点2「英語に慣れ親しみ、コミュニケーションを図る楽しさや大切さを実感できる授業づくり」について

### (1) コミュニケーションへの興味・関心を高める指導の工夫

#### ① 単元のゴールとなるコミュニケーション活動の設定

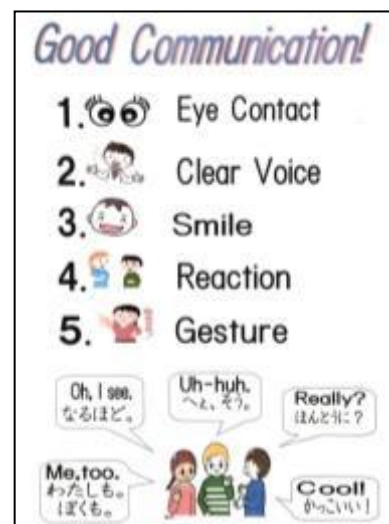
3年以上の学年のET では、児童が目的意識や必然性をもって学習に取り組めるように、単元のゴールとなるコミュニケーション活動を設定した。

単元の第1時でゴールとなる活動を児童と話し合って決定したり、教師が活動のモデルを見せたりすることで、児童が単元で目指す姿をイメージできるようにした。

#### ② 「Good Communication」の活用

コミュニケーション活動を行う際は、よりよいコミュニケーションを行う際の5つのポイントをまとめた「Good communication」(※資料⑤参照)を提示した。

単元の内容や児童の実態に応じて、5つのポイントから重点的に指導したいポイントをいくつか選び、コミュニケーション活動の際に意識させた。また、5つのポイントは「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」の評価基準を設定する際にも活用した。



【資料⑤】「Good Communication」の掲示

### (2) 英語を聞いたり話したりして慣れ親しむ活動の充実

#### ① チャンツの工夫

児童が英語の表現や音声的特徴に慣れ親しむために、チャンツを行った。チャンツはキーボードの電子音を活用して作成した。チャンツを作成する際は次の点に留意した。

- できるだけ英語のリズムを崩さずに、音声的特徴が意識できるチャンツにすること。
- 情報語句を強調して発音できるチャンツにすること。

(例) What's color do you like? / I like red. ※ 下線が引いてある語句が情報語句。

また、チャンツをする際は、「表現を覚えること」、「リズムを意識すること」、「情報語句を意識して言うこと」など目的意識をもって行うようにした。

## ② ゲームの工夫

児童が表現に慣れ親しむために、授業でゲームを多く取り入れた。ゲームをする際は、ゲームの特性を明らかにして、本時の目標に合うものを児童の実態等に応じて選定した。(※ゲームの具体例については、「4 授業実践1」「5 授業実践2」の「(4) 研究の視点」参照)

## ③ リハーサルタイムの設定

コミュニケーション活動を行う前には、その活動で使用する表現を再度確認したり練習したりするリハーサルタイムを設定した。リハーサルタイムでは「全体→1人→ペア→全体→1人」など、学習形態を工夫しながら練習を行って、児童が1人で自信をもって英語を話せるようにした。

## (3) 評価の工夫

### ① 積極的な声かけによる評価

授業中に英語の音声的特徴を意識して会話をしようとするなど望ましい学びの姿が見られる児童に、積極的に「Good job!」「Nice Gesture!」などの褒め言葉を使って評価するようにした。

### ② 振り返りカードによる評価

教師が児童の学習の状況等を把握するために振り返りカードの記述をもとに評価を行った。振り返りカードは、各学年の児童の実態や単元の内容に応じて、自己評価の項目を検討しながら作成した。

(※資料⑥参照)

| イングリッシュタイム ふりかえりカード LESSON 7 「夢の時間表を作ろう」 名姓 |                                                    |                                                 |                                                 |                                                 |
|---------------------------------------------|----------------------------------------------------|-------------------------------------------------|-------------------------------------------------|-------------------------------------------------|
|                                             | 第1時                                                | 第2時                                             | 第3時                                             | 第4時                                             |
| 学習課題                                        | 曜日や教科の正しい書き方を<br>知ろう。                              | 勉強する教科をいえる<br>ようになろう。                           | 友達に勉強する教科を<br>伝えよう。                             | 友達に時間表を紹介し<br>よう。                               |
| 学習目標                                        | 自分の教科や勉強する<br>曜日を正確に書き<br>ついでふりかえ<br>り、感想を書<br>こう。 | 自分の勉強する教科を<br>いえるようになろう。<br>友達に勉強する教科を<br>伝えよう。 | 自分の勉強する教科を<br>いえるようになろう。<br>友達に勉強する教科を<br>伝えよう。 | 自分の勉強する教科を<br>いえるようになろう。<br>友達に勉強する教科を<br>伝えよう。 |
| コミュニケーション                                   | ◎ ○ △                                              | ◎ ○ △                                           | ◎ ○ △                                           | ◎ ○ △                                           |
| 今日の<br>good job<br>友達を褒めよう。                 | 今日の勉強<br>が楽しかった。<br>友達を褒めよう。                       | 今日の勉強<br>が楽しかった。<br>友達を褒めよう。                    | 今日の勉強<br>が楽しかった。<br>友達を褒めよう。                    | 今日の勉強<br>が楽しかった。<br>友達を褒めよう。                    |

【資料⑥】5年生使用した振り返りカードの一部

### ② パフォーマンステストの実施

5・6学年で「聞くこと・話すこと」を評価する方法としてパフォーマンステストを実施した。テストでは、児童に単元で指導した表現でECやALTと会話をさせて、担任が

その様子を観察した。担任は、1人1人の児童に単元で指導した英語の表現を聞き取りたり話したりする力が身に付いたかを確認した。そしてECと評価結果を確認して、次の単元の指導計画や1単位時間の授業づくりに生かすようにした。

### 3 研究の視点3「英語に慣れ親しめる環境づくり」

#### (1) 英語に慣れ親しむ日常活動の実施

##### ① 「朝のミニイングリッシュタイム (MET)」の実施

全校児童の英語に親しむ機会を増やすために、校内放送を使って、毎週水曜日の朝に「朝のミニイングリッシュタイム」(以下MET)を実施した。METは、ECまたはALTの英語のあいさつで始まり、その後全校一斉に「バナナチャンツ」等を行う流れで実施した。(※資料⑦参照)



【資料⑦】朝のミニイングリッシュタイムの様子

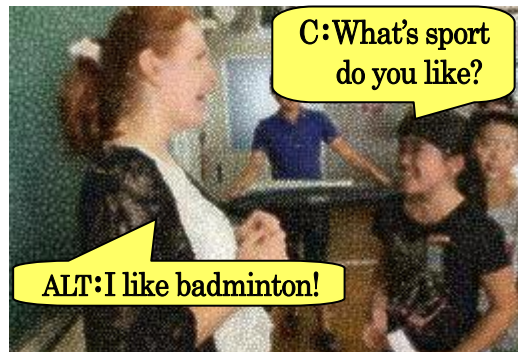
##### ② 英語の歌の放送

児童が日常的に英語を聞けるように、毎週月、水、金曜日の朝に英語の歌を放送した。放送する歌は、授業で歌ったものや親しみやすいメロディのものを選定した。

##### ③ スタンプカードの取組

ALTの発案で、児童が授業以外でも学習した表現を使ってALTと会話できる取組を実施した。

児童にスタンプカードを渡し、授業以外でALTと会話をしたらスタンプをもらえるようにして、児童が積極的にALTと会話できるような環境づくりをした。(※資料⑧参照)

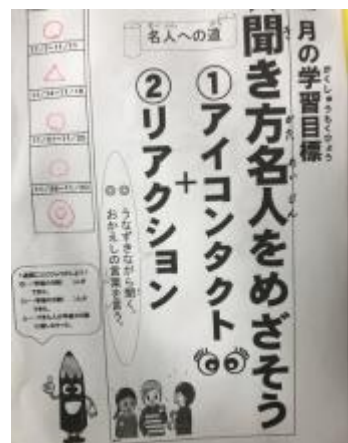


【資料⑧】リリー先生と児童の会話の様子

##### ④ 「Good Communication」と関連した学習目標の設定

本校では、各月ごとに学習目標を設定して学習訓練の徹底を図っている。

2学期の学習目標は、先述した「Good Communication」と関連させた学習目標を設定した。(※資料⑨参照)「Good Communication」は、ETの時間だけでなく、他教科等や日常生活でも生かせるものであることを教師も児童も意識できるようにした。



【資料⑨】掲示した学習目標

## (2) 英語に関する掲示の充実

ET で学習した英語や外国の文化に日常的に親しむことができるように掲示を充実させた。

(※資料⑩⑪参照)



【資料⑩】授業で使用したピクチャーカードを掲示した階段



【資料⑪】世界の行事を紹介する掲示物(写真左側)と曜日、日付、天気を英語で示した掲示板(写真右側)

## 4 授業実践1

(1) 単元名 第5学年 Lesson 3 「I like chocolate. ～好きなものを伝え合おう～」

(2) 単元の目標

- 好きなものや嫌いなものを積極的に尋ねたり伝えたりする。
- 好きなものや嫌いなものを尋ねたり伝えたりする表現に慣れ親しむ。
- 日本語と英語の音の違いを理解する。

(3) 単元の指導計画

| 時 | 目標・活動（・）                                                                                                                                                                                                                        | 評価 |    |   |                            |                 |
|---|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|----|---|----------------------------|-----------------|
|   |                                                                                                                                                                                                                                 | コ  | 聞話 | 気 | 評価規準                       | 評価方法            |
| 1 | 単元のゴールを知る。<br>果物やお菓子の英語の表現を知る。<br>・【chant】 バナナじゃなくて banana チャンツ<br>・【game】 キーワードゲーム ・【game】 陣取りゲーム                                                                                                                              |    |    | ○ | 果物やお菓子の日本語と英語の音の違いを理解している。 | 行動観察<br>ふり返しシート |
|   | 単元のゴール「5年1組の人気のおやつランキングを作ろう」                                                                                                                                                                                                    |    |    |   |                            |                 |
| 2 | 好きなものや嫌いなものを伝える表現に慣れ親しむ。<br>・【chant】 バナナじゃなくて banana チャンツ<br>・「I like 〜./I don’ t like 〜。」の表現を知る。<br>・【chant】 I like icecream チャンツ<br>・【game】 I like かるたゲーム                                                                     |    | ○  |   | 好きなものや嫌いなものを伝えている。         | 行動観察<br>ふり返しシート |
| 3 | 好きなものや嫌いなものを尋ねる表現に慣れ親しむ。<br>・【chant】 バナナじゃなくて banana チャンツ<br>・【chant】 I like icecream チャンツ<br>・「Do you like 〜？ Yes, I do. /No, I don’ t.」の表現を知る。<br>・【chant】 Do you like chocolate？ チャンツ<br>・【Activity】 ペアで好きなものや嫌いなものについて尋ね合う。 |    | ○  |   | 好きなものや嫌いなものを尋ねている。         | 行動観察<br>ふり返しシート |